

教科書二載ッテ無イコト

作詞 J'Soul (浅羽一)

世界平和を鼻で歌って 世界の愛に目で笑いかける
弾丸の先にはゴムを埋め込み 石油の代わりに電気で空を飛ぶ
笑顔で隣人と握手を交わす
だけどその裏で全てを見下す
オリーブをくわえたハトの丸焼き 片手で掴んでグラスをあおる
金と行き交う鉄のバクダン
酔った勢いで発射ボタンに手を伸ばす
指輪に付いた石の重みに 疲れた腕をそのまま落とす
そして消し飛んだ人々の墓で
可哀想にと涙を流す
地球はいつもと変わらず回る

隣の国では子供が餓えて 彼方の国では夕食が冷める
夢の代わりに銃を握る子供が 甘えた日常のテレビに映され
評論家達が同情を語る
カメラが止まれば全て忘れる
片足を失った男の床を 足を^{どこ}必要ない金持ちが笑う
同情と嘲笑は等しく
冷やかな優越感を生む餌になる
ワイングラスを傾けながら 苦しむものの行方を決める
意義もなく否定を繰り返すだけで
そんな奴らに価値が生まれる
地球はいつもと変わらず回る

お腹が痛いと訴えるだけで 高価な薬をいくつも飲める
雨水が冷たいと泣いただけで 心地よい温風が身を包む
公園で膝をすりむいただけで 金をよこせと訴訟を起こす
そんな国に暮らしているだけで
どうして自分達は優れているなどと 自惚れた戯れ言^さを吐けるのか
分厚い毛布をいくつもかぶり
どうして自分達は優れているなどと 自惚れた戯れ言を吐けるのか

それでも地球はいつもと変わらず回り続ける
いつもと変わらず回り続ける